

JODCニュース

Japan Oceanographic
Data Center

No. 54

March 1997



- 会議報告 p. 1
- NODC(U.S.A.)訪問記 p. 5
- JODC Home Page だより p. 6 **NEW!!**
- 1996年受領データ一覧 p. 7
- JODCのデータ管理状況 p. 9
- 海の相談室だより p. 11
- IOC刊行物・文書保管センターから p. 12
- Topics & Information p. 13

日本海洋データセンター
(海上保安庁水路部)

会議開催・出席報告

NEAR-GOOS調整委員会 第1回会議出席報告

NEAR-GOOSは、GOOSの北東アジア地域でのパイロットプロジェクトで、1996年2月のWESTPAC会議でWESTPACのプロジェクトとして開始されることになりました。

今回は、WESTPAC会議が設置したNEAR-GOOS調整委員会の第1回会議です。

1. 日時、場所

1996年9月4日～同6日、
バンコク (WESTPAC地域事務所)

2. 出席者

委員は各国2名で、(*)印は招聘専門家を示す。

中国：葉人杪 (国家海洋局) 王 宏 (国家海洋信息中心) (*)宋学家 (国家海洋環境予報中心)

日本：平 啓介 (東京大学(WESTPAC議長))、長谷川直之 (気象庁)、辰野忠夫 (海上保安庁水路部(JODC所長))

韓国：(*)Choi Young-Sub (海洋水産部)

ロシア：A. V. Tkalin (極東域水路気象研究所)

事務局：Yihang Jiang (WESTPAC事務局)、一山直子 (IOC/GOOSサポートオフィス)

その他、オブザーバー数人

3. 議事概要

1) 議長選任

気象庁の長谷川氏を議長に、ロシアのTkalin氏をラポルタに選任、議長は委員会の2会期間、調整に当たることになっています。

2) NEAR-GOOS実施計画の作成

従来検討されたものを若干修正して採択されました。概要は以下の通りです。

ゴール：地域における海洋サービス向上、その他6項目

目 標：リアルタイムデータベース (RTDB)及びディレイモードデータベース (DMDB)の構築

海 域：日本海、黄海、東シナ海 (ただし、渤海湾については当分の間除外)

データ：水温、塩分、流れ、波、水位、溶存酸素、栄養塩その他。

これは、係留ブイ、漂流ブイ、観測塔、沿岸ステーション、観測船及びボランティア船による現場データと、静止衛星、極軌道気象衛星及び地球観測衛星によるリモートセンストデータからなる。

イニシャルフェーズ：データは、水温、塩分、流れ、風、波とし、リアルタイムで報告されたものとする。

インフラ：NEAR-GOOS調整委員会、NEAR-GOOS調整員を設け、WESTPAC地域事務局が委員会をサポートする。

3) NEAR-GOOSオペレーションマニュアルの作成

概要は以下のとおりです。

1) イニシャルフェーズのデータは水温、塩分、流れ、風、波とし、GTS (世界気象通信システム) とインターネットによりリアルタイムで報告されたものとする。

2) RTDBをリアルタイムユーザのために、DMDBをディレイモードユーザのために作る。これは、気象庁(JMA)とJODCがそれぞれ管理し、参加国はアソシエートDBを作ることができる。

3) アソシエートDBの責任機関は、その国においてNEAR-GOOS DBへのデータ提出を奨励する。

4) JMAとJODCにおいて、データベース管理者が各指名され、調整委員会のガイダンスのもとに、RTDB・DMDBの運用、管理の責任を持つ。これには、DBへの入力、ユーザの登録、RTDB・DMDBの利用のモニター、委員会への定期的報告の提出及びデータ収集管理の更なる発展のための技術的アドバイスの提出が含まれる。

5) DB管理者は、DB及びデータの利用につき責任を有しない。また、DBサーバ・関連通信回路のトラブルやメンテナンスによるDBサービスの中断によって生ずるいかなる結果にも責任を有しない。

利用者は、マニュアルに基づく手順でユーザ登録申請を実施する必要があります。また、IOC/NEAR-GOOSホームページについては、既にかかれていますが、更にアップデートされるべきであり、調整員、委員会メンバーも支援することができます。

4) カントリーレポート

4ヶ国それぞれから現状のレポートが発表されました。(記載省略)

5) 勧告の採択

この会議で4件の勧告を採択した。これは1996年10月のIOC執行理事会に提出されます。内容は以下の通りです。

(1) NEAR-GOOSの開始と将来の展開

これは、JMAとJODCがRTDBとDMDBを各運用し、またアソシエートDBもデータの収集と配布のために運用されること、各機関はデータを提供し、利用することの呼びかけである。

(2) NEAR-GOOSのデータ管理研修

これは、NEAR-GOOSのデータ流通に電子通信の方法が用いられ、IOCの一般データ交換の知識も必要とされるので、研修が

必要であり、JODCがJMAと東大海洋研の協力により行うよう呼びかけである。

(3) NEAR-GOOS調整委員会の付託事項
委員会の任務に関するWESTPAC会議の規定の一部を修正したものである。

(4) 次回の開催場所と時期

特に招聘がなければ、1997年4/5月にバンコクで開かれる。

4. 所感、その他

今回の調整委員会における主な任務は、実施計画とオペレーションマニュアルを点検、完成することで、ほぼ目標は達成されました。また、前回話題にならず今回初めての事項としては、

- ・海域について、当面の間、渤海湾を対象外とすること
- ・DBについて、定義なしにアソシエートDBを導入したことの2点でした。

これは、いづれも中国からの要求によるもので、第1点は内水であるとの理由で、第2点は国内での流通管理の主導権の問題に起因するものと思われました。

DB利用者の登録についても、規定が複雑な文書になったのは中国の注文によるもので、一般には直接、調整員に申請しても問題ありません。

DMDB(Delayed Mode Data Base) 運用開始

JODCでは、上記調整委員会第1回会議の勧告を受けて、1996年10月からDMDBの運用を開始いたしました。

DMDBは、J-DOSS(JODC Data Online Service System)に構築しており、ユーザ登録が終了した利用者は、WWWサーバを介してデータを入手することが可能です。

これから開かれる会議案内

会議名	開催日時	場所
Second Near-GOOS Coordinating meeting	14-16 May	Bangkok, Thailand
Third Session of the IOC-WMO-UNEP Committee for GOOS	26-28 June	Paris, IOC
IOC-IHO-GEBCO 第16回合同委員会	23-25 June	Southampton, U. K.

「亜熱帯循環系の調査研究」 第2回日中共同 ワーキンググループ会議開催

亜熱帯循環系の調査研究プロジェクトにおける日中間の「海洋データ交換細則」については、その関連記事をJODCニュースNo.52及びNo.53に掲載しましたが、本プロジェクト全般に関する問題について交換細則を含めた幅広い討論を行うため、1996年11月21、22日の両日海上保安庁水路部において第2回日中共同ワーキンググループ会議が開催されました。この会議の開催は日本国科学技術庁と中華人民共和国国家海洋局との間の実施取決めに基づくもので、科学技術庁研究開発局海洋地球課高澤地球科学技術推進調整官をはじめとする日本側ワーキンググループと、中華人民共和国国家海洋局国際合作司范双辺合作処長をはじめとする中国側ワーキンググループにより熱心な討論が行われました。

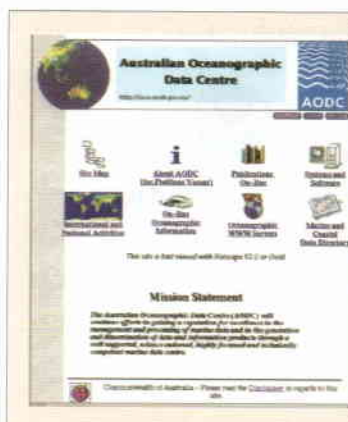
1 会議の概要

今回の会議では、双方のワーキンググループが1995年度及び1996年度の共同調査研究実施状況及び研究者交流状況等を報告するとともに、1997年度の共同調査研究計画について引き続き友好的に協力実施することが確認されました。また、第1回ワーキンググループ会議で合意された共同調査研究項目の進捗状況等について紹介し合うとともに、今後の共同調査研究についての討議が行われました。さらに、当プロジェクトの第1回シンポジウ

ムの開催は1997年12月2～4日に日本において開催し、日本側窓口は水産庁西海区水産研究所が担当すること、これに併せて第3回ワーキンググループ会議を1997年に日本において開催することが合意されました。また、第4回ワーキンググループ会議を1998年下半年に中国において開催すること、これに併せ第2回シンポジウムを実施することが合意されました。

2 「海洋データ交換細則」について

会議においては双方のワーキンググループにより、両国の海洋データセンターで起草した「海洋データ交換細則」について確認がなされました。ここに至るまでには、日中両国の海洋データセンターをはじめ、関係機関担当者の多大な尽力があったことは言うまでもなく、関係各位のご協力に対してここに改めて厚くお礼申し上げます。この文書については、日本語、中国語それぞれについて2部ずつ作成し、日本海洋データセンター所長及び中国海洋データセンター主任がそれぞれ署名し、1部ずつ保管することになっており、現在両国の海洋データセンターで日本語、中国語それぞれ1部ずつ保管しており、日本国内においては会議事務局より第2回日中共同ワーキンググループ会議議事録資料として、その写しが関係機関に配布されています。今後は共同調査研究で取得された該当海洋データについて、「海洋データ交換細則」に基づく円滑な交換が進むよう、関係各位のご理解とご協力をお願いします。



海洋関係機関のホームページ その5

機関名	Australian Oceanographic Data Centre (AODC)
アドレス	http://www.aodc.gov.au/
メニュー	Site Map About AODC [inc.Positions Vacant] Publications On-line Systems and Software International and National Activities On-line Oceanographic Information Oceanographic WWW Servers

等

NODC (米国国立海洋データセンター) 訪問記

1996年12月に米国のNODCを訪問した際の雑感です。

NODCは昨年ワシントン市内のジョージタウンから郊外のメリーランド州シルバースプリングにあるNOAAの合同庁舎に移転しました。シルバースプリングはワシントン中心部から地下鉄で北西に約20分程度郊外にある州境の小さな町です。駅前にはバスターミナルのほかはこれと言った目立った建物もなく、日本のどこかの出来たばかりの新興住宅地のようです。車窓から見える唯一の高層ビルが駅の裏手の3棟のNOAAビルですから間違えようがありません。中央のビルの玄関を入ると上階の受付正面に通じる専用エレベータがあり、入出者は必ずここを通るようになっており、制服のガードマンが入出者のIDを確認しています。来訪者は、相手呼び出してもらい迎えに来てもらわないと中へは入れてくれません。ワシントンにあった頃のNODCは所長室の秘書のところまで素通りで行けたのを思うと、今の警備体制は想像できないほど厳しいものです。

3棟目の1階には通りに面して小さなカフェテリアがあり、その前には2m四方程度の小さな造波プールでできたNOAAの海のモニュメントがあります。近くに海がないため常時波を起こしていますが、これがなかなかの優れもので、この波は東部の海岸(場所は忘れまし)の今現在の波を起こ

しているのだそうです。

N O D C

NODCはNOAAの傘下にあるNESDISの中にあります。データ管理部門だけでも31名とJODCの5~6倍の陣容があります。データ入手担当の専門家を配置し、各観測機関のデータは确实・迅速に収集しています。観測機関から送られてきたデータは内容に落ちこぼしがないか確認の後、データベースに登録され、専用QCソフトを用いて1航海毎に1測点ずつプロファイルで確認してQCを行っています。JODCから送られたデータの評価を聞いたところ、100点満点の95点と非常に良いと言っていました。(私の英語力でこちらに都合良く解釈しました。)

NODCのイントラネットは、外部用のホームページからは想像できないほど様々なサービスが行われています。NESDISの全てのマシンがネットワーク化され、NODCのデータベースが利用できるようになっています。

ところで、スミソニアン航空宇宙博物館に興味ある方には、ちょっと離れていますワシントンSE地区にある海軍博物館がお勧めです。基地の中にありますので、ゲートでパスポートを見せれば入れてくれます。

(海洋情報官 若松昭平)

NODCの組織図 : 5 課に分かれ、WDC-Aは海洋気候研究室にある

Department of Commerce

├--- National Oceanic and Atmospheric Administration (NOAA)

├--- National Environmental Satellite, Data, and Information Service (NESDIS)

├--- National Oceanographic Data Center (NODC)

+ Data Base Management Division

+ Laboratory for Satellite Altimetry

+ ADP Support Division

+ Library and Information Services Division

+ Ocean Climate Laboratory (Operates WDC-A for Oceanography)



JODC Home Page だより

New !

今回から新しいコーナーとして、JODC Home Pageに関するいろいろな記事を掲載したいと思います。

JODC Home Pageの改修作業について

1995年秋に正式公開して以来、JODC Home Pageは少しずつ機能拡張のための改修作業を行ってきましたが、現在は主に以下の作業を行っています。

1. 各ページを日本語化し、和文と英文の2種類とする。
2. JODC Online Serviceの各検索サービスにオンラインヘルプ(和文・英文)を追加する。
3. ADCP検索サービスで、検索結果の流向平面図や観測層別の流向断面図を表示できるようにする。
4. 各検索サービスで、検索結果の測点図を拡大できるようにする。

JODC Online Serviceでデータの検索やダウンロードがうまくできない時は？

JODC Online Serviceを使用していて、データの検索やダウンロードが思うようにできない場合は、次の点を確認してみてください。

1. 検索したら、「Search Parameter fail」と表示される。

各検索項目の左にあるボタンが選択された状態になっていますか？

検索画面には、FILE ITEMやCOUNTRY CODE、OBSERVED DATEなどの検索項目がありますが、ほとんどの場合これらの項目の左に矩形のボタン(チェックボックス)があります。CODEや日付、経緯度などを入力してもこれらのボタンを選択された状態(凹んだり、レ印や×印が入った状態)にしないと、その項目は何も指定しなかったものと

して無視されます。ご利用になっているWWWブラウザによっては、これらのボタンの表示が小さすぎたりしてわかりにくい場合があります。



ボタンを選択していない状態



ボタンを選択した状態

2. 検索したら「SEARCH DATA COUNT OVER MAXCOUNT ...」と表示される。

これは、検索結果のデータ数が多すぎる場合に表示されます。検索範囲や期間を狭めるなどして、もう一度検索させて下さい。

3. データのダウンロードをしたいが、ダウンロード用のボタンが表示されない。

JODC Online Serviceではアクセスがある度に、そのコンピュータの名前(ドメイン名)を調べます。そして、その名前(海上保安庁水路部ならjhd.go.jp)がJODCと相互にデータ交換を行っている機関のものであると判断した場合のみ、ダウンロード用の[Ready FTP]ボタンを検索結果の画面の一番上に表示させます。したがって、[Ready FTP]ボタンが表示されない場合、ご利用のコンピュータではデータのダウンロードはできません。



1996年受領データ一覧

JODCが、1996年1月から12月までに受領したデータ（文献等は除く）は、以下のとおりです。貴重なデータを提供していただいた各機関には厚く御礼申し上げます。

これらのデータは、処理が終わり次第提供可能データに追加・管理される予定です。

JODC業務の大きな柱である「迅速なデータ流通」をよりいっそう充実したものにしていくなめにも、今後とも関係調査機関のご協力の程宜しくお願いいたします。なお、受領データの一部についてはインターネットを通じても同様な情報が取得できますので、これについては「J-DOSSパンフレット」（本紙P.10で紹介）をご覧ください。

（国内）

機関名	データ名	媒体・数量
気象庁 海洋気象部海洋課 (現気候・海洋気象部)	1995年11月～1996年6月 IGOSS/BATHY 通報ログシート	リスト 1,321枚
	1994年毎時潮位データ	FD (3.5inch) 1枚
南西海区水産研究所 外海調査研究部	1994年 CTDデータ (KER)	FD (3.5inch) 1枚
環境庁水質保全局企画課 海洋汚染・廃棄物対策室	平成7年度海洋環境保全調査結果	FD (3.5inch) 1枚
工業技術院 地質調査所物理探査部	MAGNETIC ANOMALY MAP OF EAST ASIA 1:4,000,000	CD-ROM 1枚
海洋科学技術センター 海洋観測研究部	1996年6月17日～7月2日 WOCE観測報告	リスト
	1994年2月～1995年7月 WOCE観測データ	FD (3.5inch) 3枚
	1996年6月WOCEデータレポート (P8Sライン H8.6)	FD, MO 6枚, 1枚
日本海洋石油資源開発(株)	1996年5月～7月阿賀沖プラット ホーム観測資料	リスト 3枚
(株) 三菱総合研究所	地球環境研究のための統合データベース 整備にかかる調査研究報告書	
海上保安庁水路部 海洋調査課 沿岸調査課 測量船管理室	ARGOS (漂流ブイ) データ (ブイ別, プロジェクト別)	
	南極地域観測データ (各層データ, 驗潮データ, XBTデータ)	FD (3.5inch) 1枚
	1996年6月速報用海象データ	オンライン 26,450 rec
	1995年XBTデータ	FD (5inch)
	1996年速報用海象データ	オンライン 36,763 rec
	1995年潮汐, 1994年潮流データ	オンライン
1996年7月～8月 船舶波浪データ	リスト 5枚	

機関名	データ名	媒体・数量
第一管区海上保安本部	1995年 ADCP,XBTデータ	FD (3.5inch) 2枚
	海流観測実績表	
	1996年1月～6月	5inch FD, リスト FD 1枚
	ADCP,XBTデータ	
第六管区海上保安本部	北海道開発庁 潮汐月表	リスト
	1995年7月～12月分	FD (3.5inch) 1枚
第七管区海上保安本部	一管区ADCP,XBTデータ	
第八管区海上保安本部	1992年 ADCPデータ,XBTデータ	FD (3.5inch)
	波浪データ (航海日誌)	リスト
第九管区海上保安本部	1992年 航海日誌	リスト
	ADCPデータ	5inch FD, リスト FD 1枚

(国外)

機関名	データ名	媒体・数量
IHB , IHO	Information concerning recent bathymetric data (B-4) LIST No.25	FD (3.5inch) 1枚
IOC	OceanPC Manual (Software for Management and International Exchange of Oceanographic Data)	FD (3.5inch) 2枚
Marine Environmental Data Svc.	GTSPSP Improving the availability of temperature and salinity data	CD-ROM 2枚
BODC (イギリス)	Global Sea Level Observing System(GLOSS) Station Handbook	CD-ROM 1枚
CNODC (中国)	1995年10月 ADCP、CTDデータ(WOCE)	オンライン
KODC (韓国)	1996年4月 WESTPAC TESAC データ	リスト 56枚
	1996年10月 WESTPAC TESAC データ	リスト 56枚
INODC (インド)	波浪データ	FD (3.5inch) 1枚
SISMER - Center IFREMER de Brest (FRANCE)	ROSCOP files 1988-1994	
NODC Shipboard ADCP Center	ADCP データ	

海洋関係機関のホームページ その6



機関名 気象庁
 アドレス <http://www.kishou.go.jp/>
 メニュー 新着情報
 お知らせ
 気象庁のしごと
 天気、地震、火山、海の知識
 気象庁の出版物とデータ、無線通報
 民間の気象情報サービス
 関連ホームページ

JODCのデータ管理状況

JODCが管理しているデータは以下のとおりです。詳細は「日本海洋データセンター利用の手引き」をご覧ください。なお、インターネットを通じても同様な情報が取得できますので、これについては「[J-DOSS パンフレット](#)」をご覧ください。

種 類	データセット	概 要
水温・塩分	各層観測	ナンセン採水器、STD、CTDによる所定層の水温・塩分など
	BT	MBT、DBT、XBT、AXBTによる水温の鉛直分布
	BATHY/TESAC	IGOSS通報による水温・塩分
	水温データセット 沿岸域海象	各種のファイルから統合した所定層の水温 水産庁、気象庁沿岸定点における月及び旬平均の表面水温・気温
	世界水温・塩分	全世界の海洋の水温・塩分データ
	世界水温・塩分統計値	全世界の年、四季、月の水温・塩分統計値 (1度グリッド)
海流	海流	GEK、偏流、ADCPによる海流データ
潮汐・潮流	毎時潮位	海上保安庁、気象庁、北海道開発庁の観測点
	験潮曲線	海上保安庁観測点の験潮曲線のマイクロフィルム
	太平洋・インド洋潮位 潮流	太平洋、インド洋(34地点) 流速計による潮流データ
波浪	定点測器波浪	気象庁の測器による波浪観測
	沿岸目視波浪	灯台等による目視波浪観測
	船舶目視波浪	巡視船による目視波浪観測
汚染	重金属・油分等 油汚染	海上保安庁、環境庁、気象庁による海洋汚染観測 MAPMOPP、MARPOLMONによる油汚染観測
海洋地球物理 ・海洋地質	水深	各種測量資料、海図等の水深をデジタイズしたデータ、調査船で得られた水深(MGD77)
	ETOPOS	米国NGDCが作成した5分メッシュごとの水深、標高データ
	1分メッシュ水深	JODCの水深データと大陸棚の海の基本図をもとに気象研が作成した1分メッシュごとの水深データ

種 類 データセット	概 要
3次メッシュ水深統計	JODCの水深データを3次メッシュごとに統計値（平均、最大値、最小値、点数、標準偏差）を算出したデータ
等深線	各種測量資料、海図等の等深線をデジタル化したデータ
海岸線	各種測量資料、海図等の海岸線をデジタル化したデータ
底質	各種測量資料、海図等の底質をデジタル化したデータ
地磁気	調査船で得られた磁力値（MGD77）
重力	調査船で得られた重力値（MGD77）
KAIKO	仏「ジャン・シャルコ」によるKAIKO計画第1期の水深、地磁気、重力、音波探査の成果
CLIMAP	CLIMAPプロジェクトで得られた海底堆積物の柱状試料の分析結果
SEATAR	SEATARプロジェクトで得られた東アジア海域のデータ
火成岩化学成分	火成岩分析のデータバンクであるPETROSのデータ
測量原図	水深測量の原資料
海洋生物	環境庁、水産庁、気象庁、都道府県水産試験場の観測によるプランクトンデータ
所在情報	地域海洋情報整備事業で得られた海域毎の海洋情報（自然情報）の所在情報
海底設置型等の海洋観測機器	国内関係機関より収集した海底設置型等の海洋観測機器の設置・揚収状況

J-DOSS パンフレット発行

インターネットを通じてJODCが保有する海洋データ・情報を検索・抽出できるシステムJ-DOSS(JODC Data Online Service System、本誌No.51で紹介)の最新版パンフレット(日本語版・英語版の2種類)を発行いたしました。

このパンフレットは、今年度の図書館情報大学の夏季実習(本誌No.53で紹介)で作成されたものを基にしています。

現在、J-DOSSを使いやすくするために日本語化するなどの改修作業を行っておりますので、今後もより多くの方々にアクセスしていただきたいと思っております。



海の相談室だより

平成8年「海の相談室」利用状況

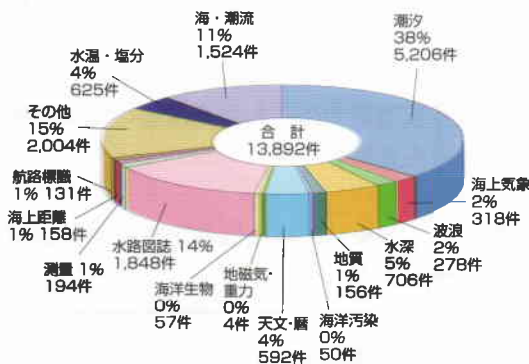
平成8年本庁及び管区の「海の相談室」利用件数は13,892件で平成7年よりも、1,024件減少しました。

これは、平成8年より積算方法を一部変更したことまた、インターネットの普及により海に関する情報があらゆる分野から身近に入手できるようになった等の理由があると推察されます。

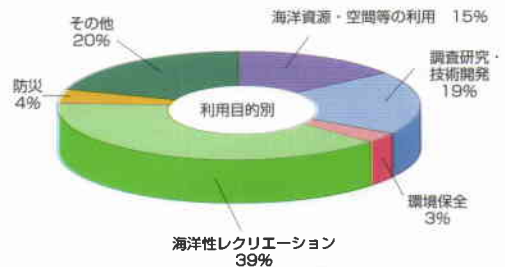
しかし、海に関する情報は、産業、研究、海洋レジャー等様々な分野からのニーズがあり、これからも、ユーザに身近な「海の相談室」として充実した内容を提供するつもりです。

なお、J-DOSSの利用による平成8年のデータダウンロード件数は、1,501件となっています。

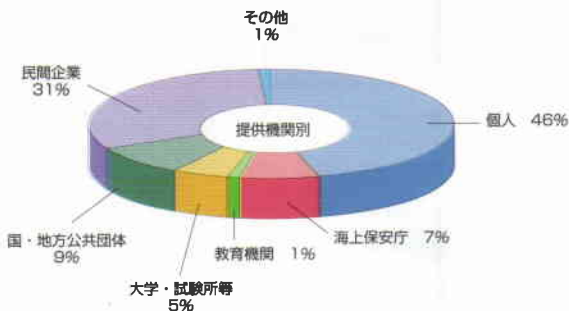
平成8年本庁・管区項目別提供件数



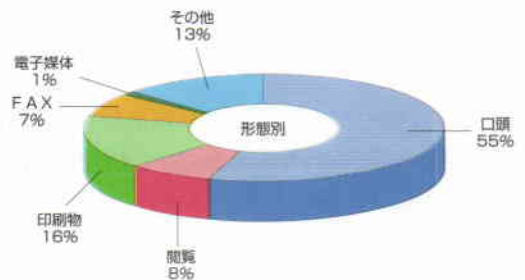
平成8年本庁・管区利用目的別比率



平成8年本庁・管区提供機関別比率



平成8年本庁・管区形態別比率



IOC刊行物・文書保管センターから

新しく受領した文献のリスト (1997年2月15日現在)

Report of Meetings of Experts and Equivalent Bodies

- No. 109 .. *Joint Scientific and Technical Committee for Global Ocean Observing System (J-GOOS)*
- No. 110 .. *JOINT GCOS-GOOS-WCRP Ocean Observations Panel for Climate (OOPC)*
- No. 111 .. *Strategy Sub-Committee (SSC) of the IOC-WMO-UNEP Intergovernmental Committee for the Global Ocean Observing System (I-GOOS)*

Reports of Governing and Major Subsidiary Bodies

- No. 65 *IOC Committee on International Oceanographic Data and Information Exchange*
- No. 66 *IOC-FAO Intergovernmental Panel on Harmful Algal Blooms*
- No. 67 *IOC Sub-Commission for the Western Pacific*
- No. 68 *Second Planning Session of the IOC-WMO-UNEP Committee for the Global Ocean Observing System (I-GOOS)*
- No. 69 *Intergovernmental Meeting on the IOC Black Sea Regional Programme in Marine Sciences and Services*
- No. 70 *IOC Sub-Commission for the Caribbean and Adjacent Regions*
- No. 71 *Comite de la COI sur l'Echange international des donnees et de l'information oceanographiques (No.65のフランス語版)*
- No. 72 *IOC Regional Committee for the Central Eastern Atlantic*
- No. 73 *Twenty-ninth Session of the Executive Council*

Workshop Report

- No. 120 .. *International Training Workshop on Integrated Coastal Management.*
- No. 121 .. *Atelier regional sur la gestion integree des zones littorales (ICAM).*
- No. 123 .. *Second IOC Regional Science Planning Workshop on Harmful Algal Blooms in South America.*
- No. 124 .. *GLOBEC-IOC-SAHFOS-MBA Workshop on the Analysis of Time Series with Particular Reference to the Continuous Plankton Recorder Survey*

Training Course Reports

- No. 39 *IOC/GLOSS-GOOS Training Workshop on Sea-Level data Analysis*
- No. 40 *IOC-DANIDA Training Course on the Taxonomy and Biology of Harmful Marine Microalgæ*
- *IOC-SAREC-DANIDA Training Course on the Taxonomy and Biology of Harmful Marine Microalgæ and Annual Report 1995 IOC Science and Communication Centre on Harmful Algæ*

Information etc.

- INF-1028 *Towards Operational Oceanography : The Global Ocean Observing System (GOOS)*
- INF-1039 *First Session of the International Ocean Colour Co-ordination Group (IOCCG)*
- INF-1044 *A Strategic Plan for the Assessment and Prediction of the Health of the Ocean : A Module of the Global Ocean Observing System*

Topics & Information

J-DOSSが情報化月間表彰を受賞

J-DOSS (JODC Data Online Service System) 一本誌No.51で紹介済み一が、平成8年度情報化月間における「優秀情報処理システム」として平成8年10月1日、情報化月間推進協議会から表彰の荣誉に浴しました。

JODCでは、平成4年度のJOIDESに続き、2回目の受賞となったわけですが、本システムが受賞の荣誉に恥じないよう今後とも皆様に愛され、かつ利用頂けますよう機能や内容の拡充に努めることとしていますので、一層のご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、取り扱い項目については、その後拡充し、平成9年1月現在、下記のとおりとなっています。

- ・各層観測データ
- ・CTDデータ
- ・BTデータ
- ・水温統計データ
- ・塩分統計データ
- ・海流観測データ
- ・ADCPデータ
- ・海流統計データ
- ・潮汐データ
- ・潮汐統計データ
- ・係留系流速計データ
- ・三次メッシュ水深データ
- ・国内海洋調査計画 (NOP)
- ・航海報告情報 (CSR)
- ・海底設置型観測機器情報
- ・IOC文書情報
- ・海洋略語辞典

また、本システムの利用状況につきましては、平成8年1月～12月までのアクセス数が約94,000件となっています。



TOPEX/POSEIDON 計画からの2度目の感謝状が贈られる



NASA (米国航空宇宙局) からJODCのTOPEX/POSEIDON計画の貢献に対し、平成6年に続き2度目の感謝状が贈られました。

JODCは同計画の国内研究者への配付センターとしての業務を行っています。

第15回WESTPACデータ管理研修開催



水路部長と歓談する研修生

10月14日から25日の間、第15回WESTPACデータ管理研修がフィリピン、タイからの研修生2名を迎え実施されました。研修では、IOC/IODEシステム、海洋情報・データの処理管理方法などの講義や海洋科学技術センターなどの見学が行われました。

研修では、IOC/IODEシステム、海洋情報・データの処理管理方法などの講義や海洋科学技術センターなどの見学が行われました。

WESTPACとしての研修は今回が最後で、次回からはそれにNEAR-GOOSが加わった、「WESTPAC/NEAR-GOOSデータ管理研修」として内容の一新されたものになり開催される予定です。

Topics & Information

WESTPAC DATA MANAGEMENT GUIDE (改訂版) 刊行



日本海洋データセンターは、1979年WESTPAC（西太平洋海域共同調査）のRNODC（責任国立海洋データセンター）となって以来現在まで様々な活動を行ってきていますが、RNODCとしての付

託条項の一つに、WESTPACデータ管理に関するガイドを刊行し加盟国に配布することが定められており、IOCマニュアルを基本としてデータ交換についての手続き等を盛り込んだ、WESTPAC DATA MANAGEMENT GUIDE（英文）を1982年3月に刊行しています。今回刊行したものはその改定版で、主な内容として、初版刊行当時と比較し国際社会をとりまく情報伝達技術が飛躍的な発達をとげている背景を受け、現在全世界で主流となっているインターネットを利用した手続きや、新たにWESTPAC事業として活動が開始されたNEAR-GOOS（北東アジア

地域世界海洋観測システム）等についての説明を詳しく掲載しています。

JICA専門家派遣（マレーシア）



平成8年10月、JODCにJICAの国際協力事業の一環として、マレーシア国より強い要請のあったマレーシア国立海洋データセンターの設立支援のため昨年引き続き

専門家（海洋情報官 淵之上 清二）をマレーシア工科大学に派遣しました。

近年目覚ましい経済発展を続けるマレーシアは海洋国家であり、当政府は沿岸海域から最大限の利益と海洋資源を得るための海上活動を重点とした国家方針を表明しています。また、海洋法条約発効に伴い200海里排他的経済水域の確立、沿岸資源の開発並びに領海内の国内、国際航路に関する標識の整備を実施することとしており、この目的の達成のためにも海洋データを一元管理する海洋データセンターの設立が必要とされています。

表紙写真

水産庁 東北区水産研究所 漁業調査船「若鷹丸」

平成7年3月、三井造船（株）玉野艦船工場で竣工。総トン数692トン、全長57.73メートル、航海速力約12ノット。

最新の造船技術及び観測技術の粋を結集し海に浮かんだ研究室として、世界標準の観測機器を採用するとともに、21世紀においても通用する調査船としての機能を発揮できるよう、コンピューターを用いた船内情報処理の高度化、調査・観測機器の能力向上、作業環境、居住環境の向上が図られている。

また、漁労、観測、航海、機関、無線設備等を含めた機器・装置に対し大幅な省力化、自動化も図られている。

JODC

私たちと一緒に海の仕事をしませんか？

海上保安庁水路部では、若い力を求めています。
私たちは例えてみれば海や空を調査する探検隊です。
海洋や宇宙の神秘に興味のある方は、

海上保安学校「海洋科学課程」へ

他にも船舶運行システム課程、情報システム課程及び海上保安大学校があります。

応募受付期間は、各課程によりそれぞれ4月中旬、8月中～9月上旬頃と異なります。詳しくは、海上保安庁、各地の管区海上保安本部及び海上保安部・署にお問い合わせ下さい。

「JODCニュース No.54」

—1997年3月発行—

日本海洋データセンター

(JODC)

〒104 東京都中央区築地5-3-1
海上保安庁水路部

Tel : (03) 3541-4295 (JODC)
(03) 3541-4296 (海の相談室)

Fax : (03) 3545-2885

E-mail : mail@jodc.jhd.go.jp

WWW : http://www.jodc.jhd.go.jp